

令和6年度

JAとうと満足度・期待度

正組合員向けアンケート

- 実施期間：令和7年1月
 ■実施方法：正組合員（認定農業者等）へ経済部職員が個別訪問し回答を得ました。
 ■回収枚数：配布57枚、回収57枚（回収率100%）
 ■評価方法：（5:大いに評価する、4:やや評価する、3:どちらともいえない、2:あまり評価できない、1:評価できない）

属性

認定農業者	地域担い手農家	直売所出荷者	その他
20	20	15	2

生産作物

米	麦	大豆	トマト	いちご	園芸	肉用牛	酪農	その他※
41	2	3	9	3	12	3	0	15

（※アスパラ、玉ねぎ、にんにく、菊芋 ほか）

年齢

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	その他
1	4	7	6	10	29	0

性別

男性	女性	法人
49	2	6

居住地

多治見市	瑞浪市	土岐市
14	36	7

Ⅰ 農業者の所得増大の実現

1. 水稻農家の販売量を増やす取り組み

営農組合等や担い手農家を中心に多収性品種への転換推進により、面積増加を行いました。令和6年度は、複数年契約を頂ける農家を中心に「にじのきらめき」転換推進を行いました。

また、多収性品種への転換推進による売上増加を目標に、現地園場で「にじのきらめき」の青空教室の開催やJA岐阜管内の「にじのきらめき」を栽培している現地視察研修を行いました。

■転換面積	計 画	実 績
	17.0ha	18.2ha

評価

平均**3.77**

※令和6年12月末現在の実績を表示しています。

2. 水稻農家の販売価格を上げる取り組み

水稻農家の所得増大を目的に、出荷契約者から直接買取の数量を昨年より増加させるために、生育調査や土壌診断・食味検査をするなど数量の増加、品質の向上に繋がる活動を行いました。

買取数量について、特に今年度は高温障害等により品質や収量の減少がみられ、また夏の米不足が影響し農家等から一般消費者等への直接販売や縁故米等が増加し、JAでの買取数量は減少し目標に届きませんでした。

■買取数量	計 画	実 績
	3,350俵	1,946俵

評価

平均**3.11**

※令和6年12月末現在の実績を表示しています。

3. 水稻農家の資材価格を減らす取り組み

農協の原点である共同注文・早期納品の実施により資材価格低減に取り組みました。目標を令和5年度の取扱数量とし、現状維持の数量を令和6年度の目標としましたが、昨今の離農等に予約数量は目標を下回る実績となりました。

■予約数量	計 画	実 績
	7,650袋	7,459袋

評価

平均**3.67**

※令和6年12月末現在の実績を表示しています。

4. 次世代担い手の育成支援の取り組み

次世代総点検運動の実践を通じて担い手先の確保を目標

農業従事者数等が年々減少するとともに高齢化が進むなか、地域農業を維持するため、次世代の地域農業の担い手を確保するため、水稻の離農見込先（1ha以上作付先）を訪問し、次世代活動総点検運動の実践により将来の方針等の確認を行い、将来の農地を維持するための活動を行いました。

■訪問先数	計 画	実 績
	13先	13先

評価

平均**3.49**

※令和6年12月末現在の実績を表示しています。

Ⅱ 「食」と「農」を通じた地域活性化への貢献

5. 地域の食と農をつなぐ地産地消の促進

地産地消の促進による県産米の供給増加を目標

今年度は高温障害等により品質や収量の減少がみられ、また米不足が影響し農家等から一般消費者等への直接販売や縁故米等が増加し、JAでの取扱数量は減少し目標に届きませんでした。今年度はこのような状況となりましたが、地域活性化への貢献を目的に、引き続き県産米の供給に取り組みます。

■取扱数量	計 画	実 績
	5,350俵	4,149俵

評価

平均**3.54**

※令和6年12月末現在の実績を表示しています。

アンケート

令和6年度の当JAの取り組みについて、正組合員・准組合員の皆さまを対象にアンケートを実施させていただきましたので、結果をご報告させていただきます。

准組合員アンケート

- 実施期間：令和6年12月
- 実施方法：准組合員先への当JA渉外担当者による個別訪問
- 回収枚数：配布370、回収370(回収率100%)
- 説明資料：広報誌vol.55(2024年8月号)、JAとうと満足度・期待度アンケート資料
- 評価方法：5段階評価(5:満足、期待する、4:やや満足、やや期待する、3:普通、2:やや不満、あまり期待しない、1:不満、期待しない)

性別		
男性	女性	無回答
157	207	6

居住地			
多治見市	瑞浪市	土岐市	無回答
143	77	128	22

年齢						
20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	無回答
8	17	28	64	76	177	0

取引 ※複数回答可					
貯金	融資	共済	年金	購買取引	その他
362	33	296	157	32	11

I 自己改革の取り組みについて

食と農の大切さを伝える「JA食農教育活動」の実践

米づくり、さつまいも収穫体験、出前授業などを行い、未来を担う子供たちに農業の体験機会を提供しています。また、地元産農畜産物を学校給食に取り入れ、子供たちに食と農業の大切さを伝える取り組みをすすめています。

地域の食と農をつなぐ地産地消の取り組み

地場産米のPRや販売促進を行うなど、地域で生産されている農畜産物を地域の皆さまに消費していただく「地産地消」を促進して、地域の食と農をつなぐ取り組みを進めています。

広報活動を通じた情報発信

地元の農業情報や地域のイベント情報、JAの事業活動報告をホームページ・広報誌「JAとうと」にて発信しています。
また、マスメディア(新聞・テレビ等)を活用して、食農教育活動にかかる情報発信を行っています。

支店協同活動による地域の活性化

組合員や地域住民にとって最も身近な支店を活動拠点として、地域イベント・各種ボランティア活動へ役職員が積極的に参加しています。



複数事業取引を通じた「くらし」の向上

高齢化社会に対応した介護支援(「JAとうと在宅介護サービスセンター」)等をはじめ、組合員・利用者の生活に必要な機能・サービスの提供の拡大を図り、JA事業(信用・共済・営農経済・営農指導・不動産など)の複数取引を通じて生活インフラ機能を発揮できるよう努めています。

各種無料相談機能の強化

農業相談・資産運用・相続・法律・税務・年金等、各種無料相談会を開催し、組合員ならびに地域の皆さまのあらゆる相談に対応するための機能強化に努めています。

地域貢献への積極的な参加

地元3市(多治見市、瑞浪市、土岐市)への寄付や、公共福祉施設への新米寄贈、学生食堂・子ども食堂の支援など、地域貢献活動を通じて地域との絆を強化し、組合員ならびに地域の皆さまが、住み慣れた地域で健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりに取り組んでいます。

組合員との対話と地域農業振興の応援団の取り組み

組合員の声を聴き取り(対話運動)を進めるとともに、准組合員の皆さま方を「地域農業振興の応援団」と位置づけ、JAとうとの事業を利用していただくことや様々な活動に参加していただくことを進めています。



II その他について

職員のお宅への訪問について、ご満足いただいていますか。



支店および経済店舗へご来店いただいた際の挨拶や対応等について、ご満足いただいていますか。



当JAの事業内容、活動内容、対応等について、ご満足いただいていますか。



年2回(1月、8月)発行しております「JAとうと広報誌」の掲載内容について、ご満足いただいていますか。

